授業科目名	保健医療と福祉	単位数	2
担当教員名	砂田　淳一郎	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）	特定社会保険労務士・社会福祉士・産業カウンセラー・第Ｉ種衛生管理者として、医療・福祉現場での経験をもつ。		

「学位授与の方針」との関係

本科目は、問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概の助長を担うべきものである。

授業の到達目標及びテーマ

（Ｉ）ソーシャルワーク実践において必要となる保健医療の動向を理解する。
（２）保健医療に係る政策、制度、サービスについて理解する。
（３）保健医療領域における社会福祉士の役割と、連携や協働について理解する。
（４）保健医療の課題を持つ人に対する、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。

授業の概要

近年、保健医療と福祉の連携が強調されているが、とりわけ、相談援助活動においては不可分の関係にあり、入院のみならず、地域で暮らす高齢者・障害者にとって、両者は切っても切り離せない関係にある。また、昨今は不況による失業も深刻な社会問題となっており、児童も含め、低所得の無保険者に対する医療サービス提供の問題も表面化している。従来は、病院の医療ソーシャルワーカーが、保健医療サービスに対する知識を必要としていたが、現在では、地域支援に当たるすべての支援者にとって、保健医療の動向、制度の理解、さらに他職種の連携の理解は欠かせないものとなっている。この科目は、理想的には、「社会保障」履修後に学修を開始することが望ましい。なぜならば、学修の要となる医療保険制度は社会保障の一形態であり、制度の修正や創設の背景は、社会経済の大きな流れの中で、社会保障制度全体の枠組みとして、考える必要があるからである。しかし、各論から理解し総論に至るアプローチもあるので、その場合は、社会保障制度全体を常に念頭に置きながら学修を進めていく。

授業計画

第Ｉ回：現代社会と保健医療の動向①　医療の定義、病者の理解、家族の理解、患者の権利　等
第２回：現代社会と保健医療の動向②　疾病構造の変化、医療施設から在宅医療へ　等
第３回：現代社会と保険医療の動向③　保健医療における福祉的課題　等
第４回：保健医療の政策・制度の理解①　保健医療制度の体系、医療法の概要、医療提供施設　等
第５回：保健医療の政策・制度の理解②　医療費の保障、社会保険制度　等
第６回：保健医療の政策・制度の理解③　その他の政策・制度　等
第７回：保健医療に係る倫理の理解①　医療倫理の定義、医療倫理と倫理的課題　等
第８回：保健医療に係る倫理の理解②　自己決定権の尊重、患者の意思決定をめぐる課題　等
第９回：保健医療領域における専門職の役割と連携①　保健医療領域における専門職　等
第１０回：保健医療領域における専門職の役割と連携②　院内連携　等
第１１回：保健医療領域における専門職の役割と連携③　地域医療連携、
　　地域包括ケアシステム　等
第１２回：保健医療領域における支援の実際①　医療ソーシャルワーカーの概要　等
第１３回：保健医療領域における支援の実際②　保健医療ソーシャルワーク実践の歴史と動向　等
第１４回：保健医療領域における支援の実際③　保健医療領域における支援の実際（事例検討）等

第１５回：本講義のまとめ 定期試験
教科書 最新　社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座５「保健医療と福祉」中央法規出版 ISBN 978-4-8058-8248-1
参考文献 必要に応じて適宜紹介する。
学生に対する評価 　レポート評価（５０％）、科目修得試験（５０％）を総合して評価する。